



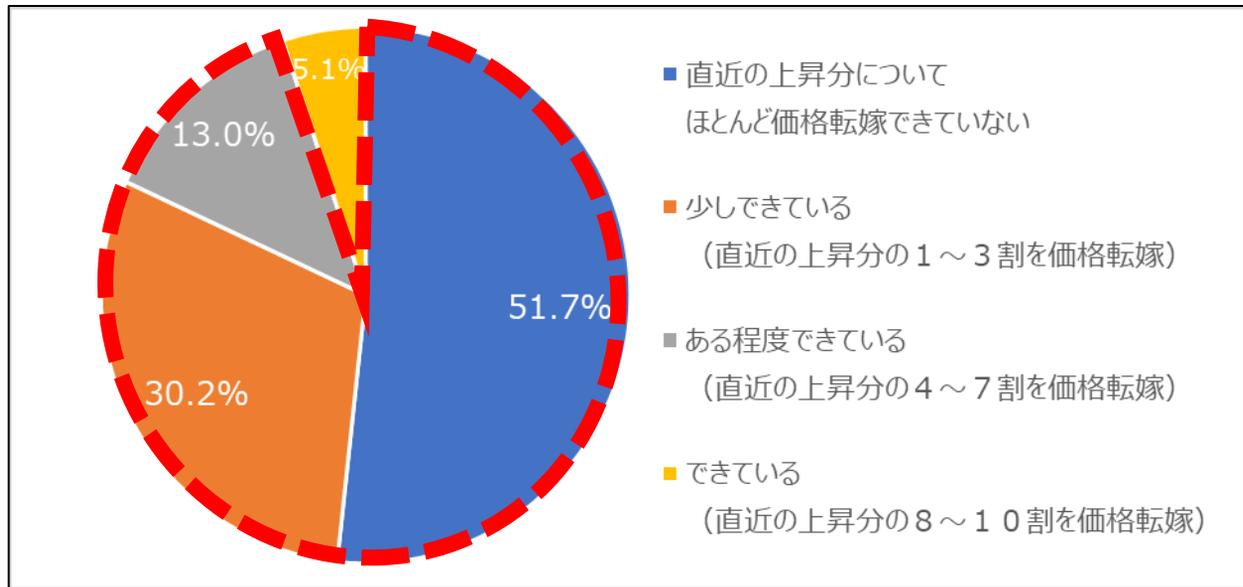
# 中小・小規模事業者の賃上げの状況等について 調査結果（抜粋）

令和 5 年 8 月  
全国商工会連合会

# 1. 約95%が人件費上昇分を十分に価格転嫁できていない

## 人件費の価格転嫁の状況

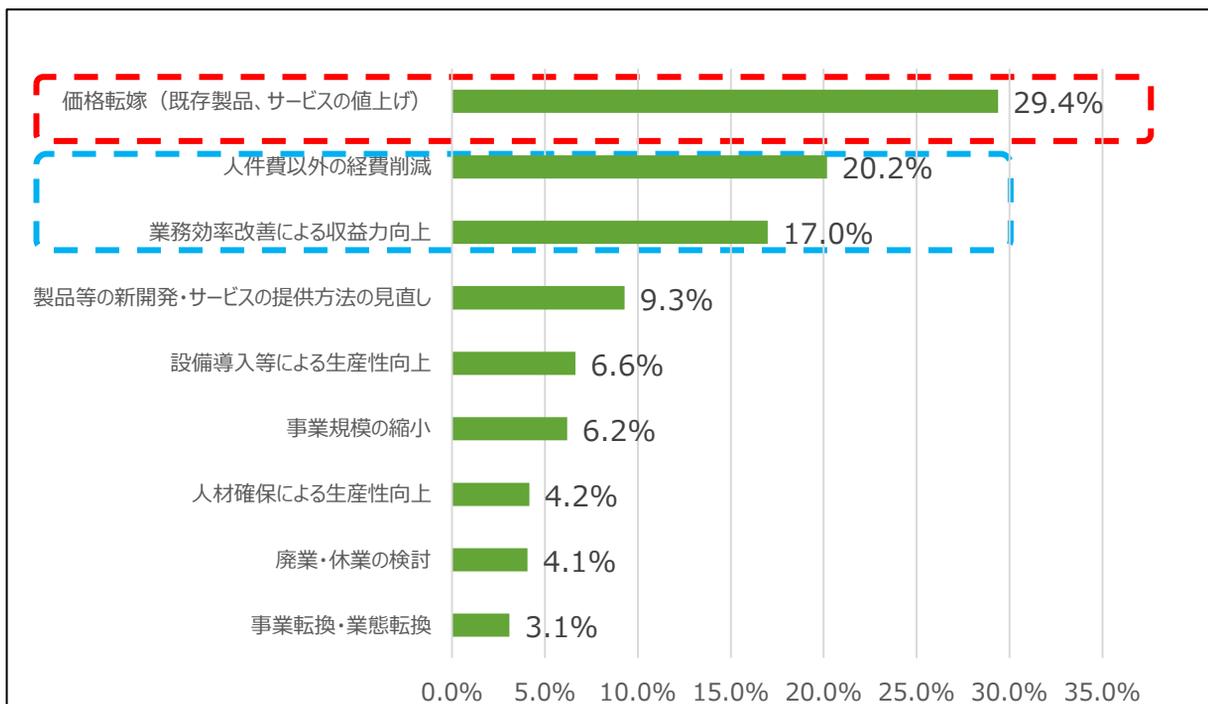
- ・人件費の価格転嫁の状況を見ると、「ほとんど価格転嫁できていない」が50%以上を占め、「少しできて」「ある程度できて」を加えると、十分に価格転嫁できていない事業者が約95%となる。
- ・人件費の価格転嫁が難しいことが、賃上げの阻害要因となっている。



# 2. 賃金引上げの対策は「価格転嫁」「経費節減」「収益力向上」

## 賃金引上げ増加の対策

- ・賃金引上げへの対策を見ると、価格転嫁の取り組みを進めるが最も多い。
- ・次いで、人件費以外の経費の削減と業務効率改善による収益力向上が続く。

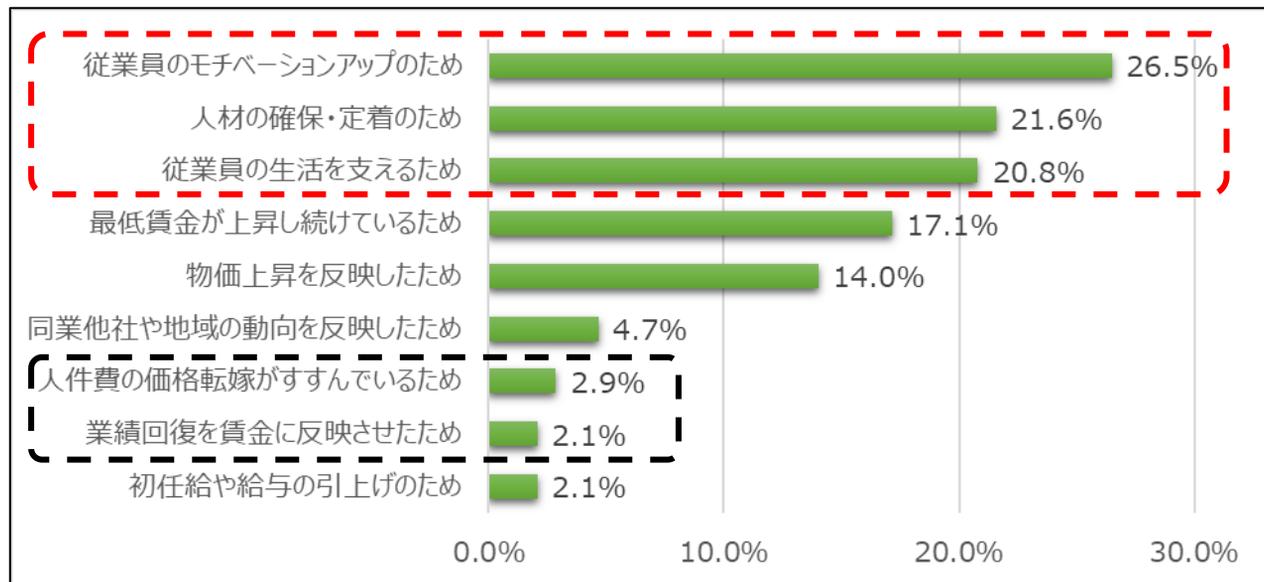


### 3. 賃上げの理由は、業績よりも従業員の処遇重視

#### 賃上げた理由

・賃上げた理由は、「従業員のモチベーションアップのため」・「人材の確保・定着のため」・「従業員の生活を支えるため」が上位を占め、業績の反映よりも従業員の処遇を重視して賃上げを実施していることがわかる。

・一方、「業績回復を賃金に反映させたため」・「人件費の価格転嫁がすすんでいるため」の回答は非常に少なくなっており、経営的に余裕のない中での賃上げとなっていることがうかがえる。

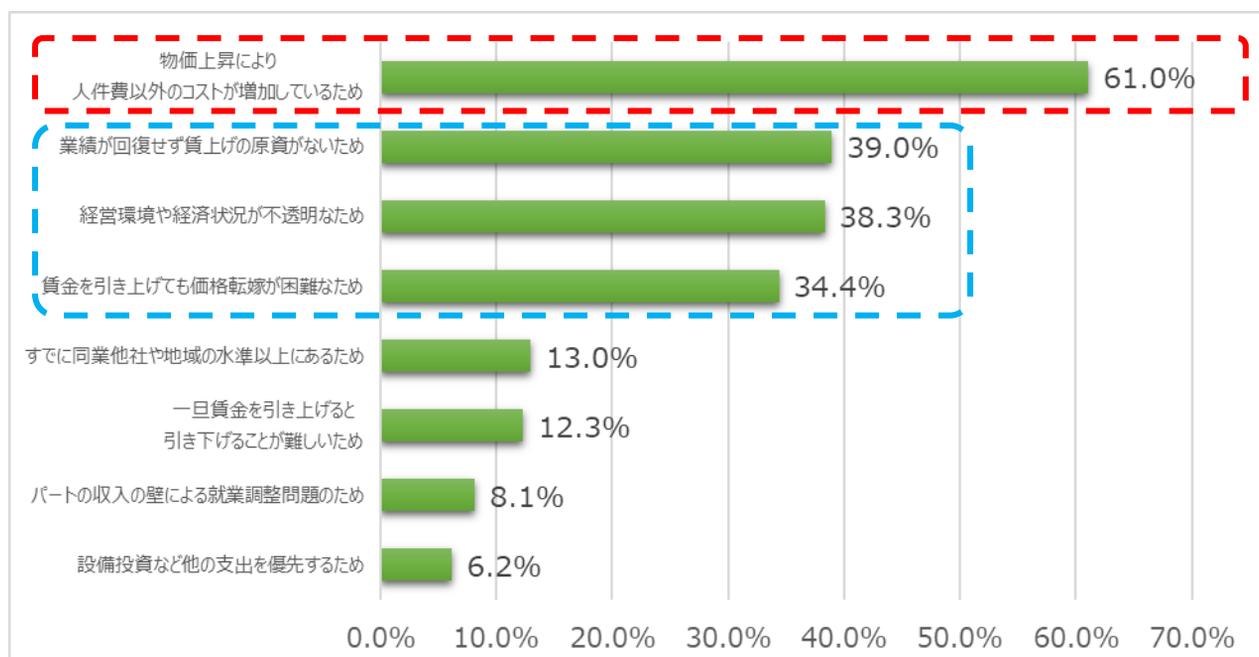


### 4. 物価上昇によるコスト増が賃上げの阻害要因

#### 賃上げていない理由

・賃上げていない理由は、「物価上昇により人件費以外のコストが増加しているため」が圧倒的であり、コストの増加で人件費までなかなか手が回らない状況がうかがえる。

・また、「業績の回復」・「経営環境・経済状況」・「価格転嫁」など賃上げに必要な環境が整っていないことを理由にする回答も上位を占めた。

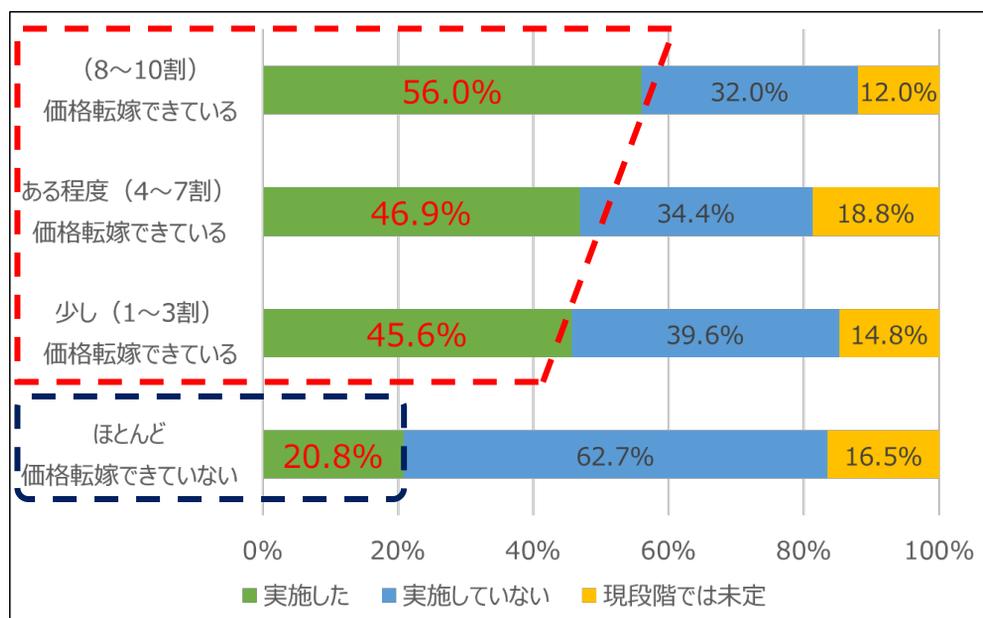


## 5. 価格転嫁ができていない事業者ほど賃上げを実施

### 人件費の価格転嫁の状況

・賃上げの実施状況を昨年との売上比較で見ると、価格転嫁ができていない企業ほど、賃上げを実施している傾向となった。

（8～10割）価格転嫁ができていない事業者では、賃上げを実施した事業者は50%を超えているが、一方、「ほとんど価格転嫁できていない」と回答した企業では、賃上げの実施は、20%程度にとどまっている。



## 6. 賃上げ率は二極化

### 本年度の賃上率

- ・賃上げを実施した企業の賃上げ率は、「1.0%～2.0%以内」が28%と最も多く、「1.0%以内」が次ぐ。
- ・一方、3%以上の引上げを実施した企業も34%あり、賃上げした企業の中でも二極化が進んでいる。

